



松ヶ崎だより

学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40
TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



令和4年10月27日
京都市立松ヶ崎小学校
校長 岡崎 秀樹



よりよい学校を目指して

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは学校評価の一環として、子どもアンケートとともに実施しています。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした自己評価についてダイジェストでお伝えします。

<アンケート調査の概要>

対象	調査期間	対象数	集計数
子ども	6月20日(月)～24日(金)	335名	331名(98.8%)
保護者	6月20日(月)～27日(月)	211名	335名(63.0%)

<アンケート調査の特徴>

本年度は児童・保護者・教職員のアンケートでの質問を、いずれもが同じ内容になるようにそろえた。

例) 項目 I

子: 学校へ行くのが楽しい。

保: 子どもは、学校へ行くのが楽しいと感じている。

教: 学校が楽しいと感じるように、授業をしったり活動をさせたりしている。

<アンケートをもとにした自己評価の流れについて>

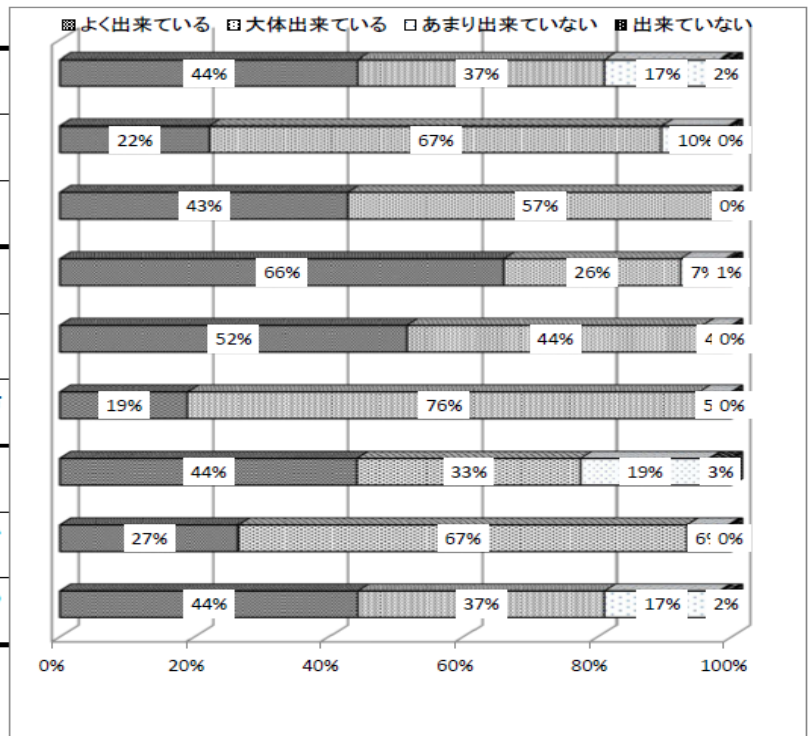
- ① 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 という3つの視点で教職員にもアンケート調査を実施(7月)
- ② アンケート結果をもとに成果と課題を明らかにし、課題の解決に向けた取組を教職員で話し合うための研修会を実施(7月)
- ③ 自己評価の中身について、学校運営協議会に説明。学校運営協議会から、自己評価に対する意見と評価(9月21日)
- ④ 成果と課題、課題の解決に向けた取組をまとめた「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」を作成(10月)

<ダイジェスト版の見方>

保護者・子ども・教職員アンケートの結果を、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成という3つの視点に分けて、グラフで示しています。紙面の関係上、保護者や子どもアンケート結果のすべてをのせることができませんが、ご容赦ください。研修会を経て作成した「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」については、ホームページ上に公表予定です。

「確かな学力」の育成に向けて

子	チャイムで学習が始められるように、準備をして待っている。
保	子どもは、時間を守ることができている。
教	授業の始めと終わりなど、時間を守っている。
子	学校へ行くのが楽しい。
保	子どもは、学校が楽しいと感じている。
教	学校が楽しいと感じるように、授業をしったり活動をさせたりしている。
子	授業で、「話し合い」をよくしている。
保	授業では、学習を深める話し合いが行われている。
教	日常の授業で、子どもたちの考えを深め、その時間の目標に向かう話し合いを行っている。



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

学び合いの基盤となる学習規律

- 「松ヶ崎のきまり」、学習規律について、シンプルなものとして子どもに示し、共通理解できるようにした。
- 専科教員がいることで、教科研究の時間を確保でき、充実した授業を行う事ができている。
- 視覚支援の工夫が十分にできていない。
- 聞き方の指導を徹底する。
- 個に応じた指導を行う。
- タブレット活用の充実を図る。

2. 楽しく学ぶ授業

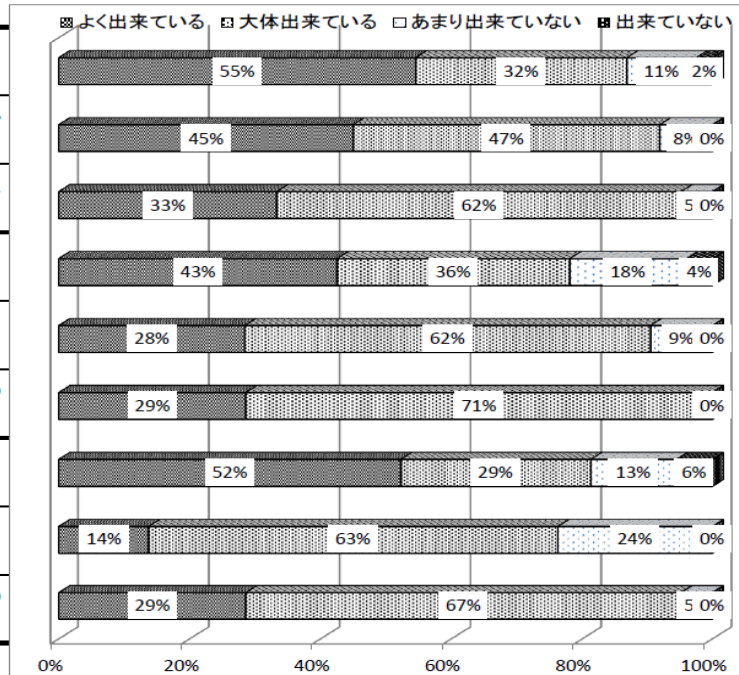
- 勉強は楽しいものだという思いを子ども達がもっている。
- 主体的・対話的に学ぶ学習ができるようになってきた。
- 授業を楽しんでいると感じていない子どももいる。
- 子どもたちが自分の存在価値を感じられる授業デザインを研究していく。
- 子どもたちの発言がにつながる授業を行う。
- タブレットを有効活用した、情報を共有する学習を多く取り入れる。

3. 全体を通して

- 子どもたちに学力がしっかりとついている。
- タブレットの活用が進み、個に応じたアウトプットにつながっている。
- 学習が分からないと感じている子への教師のアプローチが足りていない。
- 学年が上がるにつれて、学習に困難を抱える子どもの割合が増える。
- 学習に課題のある子どもへ個に応じた指導を続けていく。
- 学年に応じた ICT 活用を進めていく。
- タブレットの活用により、皆で考えを共有する学習を進めていく。
- 授業公開の機会を作り、教師の実践力を向上させる。

「豊かな心」の育成に向けて

子	先生は、自分のよいところやがんばっているところをほめてくれる。
保	学校の教員は、子どもの良い所やがんばっている所を認め、ほめている。
教	子どもの良い所やがんばりをほめ、価値を伝えている。
子	友だちのよいところを見つけ、伝えている。
保	子どもは、友だちの良い所を見つけ、伝えることができる。
教	「共感的人間関係を育成する」手立てを日常の授業の中で行っている。
子	自分にはよいところがあると思う。
保	子どもは、自分の良い所を自覚している。
教	「自己存在感を与える」手立てを日常の授業の中で行っている。



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

1. 「あいさつ」「はきもの」

- 継続してきたことで、ある程度の成果がある。
- 高学年を中心にあいさつできる子どもが増えてきている。
- あいさつ、はきものの指導が徹底できていないクラスもある。
- トイレのスリッパがそろっていないことがある。
- くつぱこの靴を揃えることは定着してきている。今後も継続をしていけるように意識していく。
- あいさつを教職員から積極的に行い、子ども達の自発的なあいさつをほめ続けることによって、価値づけをしていく。

2. 子どもの行動への価値づけ

- あいさつ、はきものを揃えるという行動をほめて、習慣化することができた。
- お互いの行動を認め合える集団づくりを進めることができています。
- 素直に「ごめん」「ありがとう」と言えている子どもは、アンケート結果と教職員の実感との間にずれがある。
- 自分がほめられたと認識しない子どもが多いので、一人一人に伝わるように具体的にほめる。
- 朝の会や帰りの会で、子どもたちの良い行動を担当が話したり、子ども同士で伝え合ったりする。

3. ルールの定着

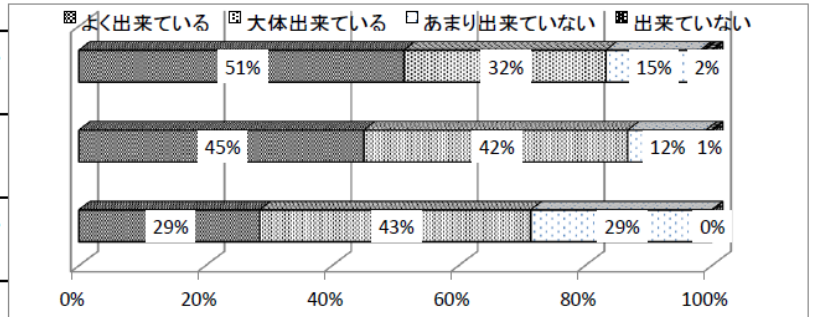
- コロナ禍での生活様式について、子ども達が受け入れて、ルールやマナーを守り活動に取り組むことができています。
- 自分勝手な行動をしてしまう子どもがいる。
- 学校でルールの共通理解をはかり、誰もが同じように指導する。

4. 全体を通して

- 互いが認め合えるクラスづくりを進められている。
- 自分には良い所がある、と感じられていない児童もいる。
- 一人一人の子どもが活躍できるように日々の学習を進めていく。

「健やかな体」の育成に向けて

子	はやね、はやおきをして、朝ごはんを食べている。
保	子どもは、早寝・早起きをし、朝ごはんを食べている。
教	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べることについて指導をしている。



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

○コロナ関連の欠席・学級閉鎖はあったが、少しずつ状況が落ち着いてきている。

●ケガで保健室へ行く子どもが多い。

●ドッジボールで遊ぶ児童が多く、外遊びにバリエーションがあまりない。

□教師と一緒に外で遊ぶ。

□家庭との連携をはかり、早寝・早起き・外遊びを定着できるようにする。

□体育科指導法の研修を行う。

自由記述から

ご多用の中、自由記述欄にもご意見をいただき、本当にありがとうございました。いくつか、紹介します。

日々の学習について

- ・子どもが自主的に楽しく取り組める工夫をして下さりありがとうございます。
- ・できることが増えてきて嬉しく思います。
- ・担任の先生以外にも携わって下さる先生に声をかけてもらい、色々な方から見守られているなど安心感を覚えます。
- ・授業ではもう少し体を動かすような時間があるとメリハリが出来ると思います。
- ・積極的にマスクを外すこと、はっきり話すことを奨励してほしいです。

学校行事について

- ・今年度は参観の機会が多くあり、授業の様子やクラスの雰囲気を知ることができ有難いです。
- ・少しずついろんな行事も再開できればいいのにと考えております。学校側もコロナ禍で対応が大変だとは思いますが、保護者としてできることは協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・今年度からは少しずつ校外学習も再開し、子どもは社会見学などを楽しみにしています。学校でしか経験できないこともたくさんあるので、座学だけでなくいろいろな経験をして欲しいと思います。

学級通信やホームページについて

- ・週の時間割や持ち物など丁寧におたよりに記載していただき、とても助かっています。ホームページでの写真も楽しみにしています。
- ・去年よりもホームページの更新をよくしてくださっているので、学校の様子が見えやすくなり有難いです。

アンケートについて

- ・学校や授業に関する設問については、「わからない」という回答があれば良いなと思いました。

ご意見ありがとうございます。紹介できなかったご意見も含めて、お答えできるものについては、個人懇談の場などでもお伝えしました。

ご家庭・地域の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止という制限のある中での日々の教育活動を支えていただきありがとうございます。引き続き、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。